

福生市の英語教育の取組について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 本市が実施してきた小・中学生への英語教育の成果や影響、また、今後の展望や新たな取り組み、施策について伺う。

教育長 グローバル化が進展する中で英語によるコミュニケーション能力を育むことは極めて重要である。本市では、令和4年3月に福生

市英語教育推進計画第2次を策定し、ALTの中学校常駐配置、小学校第5学年及び中学校第2学年の全児童・生徒を対象とした東京グローバルゲートウェイ・グリーンズプリングスへの公費参加、英語4技能検定GTECへの公費受験など小・中学校の英語教育充実に向けた取組

みを推進している。これらの取り組みにより、令和5年度GTECの結果では本市の平均スコアが全国平均を上回るなど、一定の成果につながったと捉えている。今後、教員の英語力と英語指導力を一層向上させるため各校に英語教育専門家を派遣するなど、英語教育を推進していく。



▲東京グローバルゲートウェイ・グリーンズプリングスでの学習の様子

学校給食費無償化実施について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 学校給食費無償化が実現できたことを歓迎するとともに、国がまだ無償化を実施していない段階で実施を決断した理由について伺う。

市長 学校給食費無償化は国の責任と財源において行うべきものであるとの考えに変わりはないが、物価高騰の継続が子育て世帯に多大な影

響を与えていると認識している。東京都が令和6年度から学校給食費の保護者負担の2分の1を負担する事業を開始する。市の財政全体を考慮したうえで、全額公費負担を実施する。今後も都と連携し国に対し学校給食費の早期無償化を要望していく。

質問 国が学校給食費無償化を

実施するまでの間、補助制度の充実等を都に要望することに対する考えは。

教育部長 都へはこれまで東京都市長会や東京都市教育長会を通じ、国に対する無償化の実施、都に対する独自の助成制度の創設を要望してきた。今後も引き続き国に対し無償化や制度の拡充等要望を行っていく。



▲学校給食の一例

米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 事故原因の調査状況や新情報等について市の対応を含めて伺う。

市長 米軍オスプレイの捜索・回収活動については、本年1月12日をもって終了したと情報提供があった。第21特殊作戦中隊に対して、引き続きCV-22の飛行運用停止措置がとられている。2月21日には米空

軍特殊作戦コマンドが現時点において発生した物質的不具合は判明しているが、その原因は特定されていないと公表した。改めて防衛省北関東防衛局に確認したところ、米側との間で引き続き事故の状況や安全対策等について確認作業を行っており、飛行の安全確保は、日米共通の最優

先事項であるとの回答があった。本市では、今回の事故によって市民が感じている不安を少しでも払拭できるよう、事故の原因等について迅速かつ正確な情報提供を国及び米軍に対して引き続き強く求めるとともに、東京都や横田基地周辺自治体とも連携して対応していく。



▲CV-22オスプレイ

福祉バスについて



正和会
仲間 正司 議員



質問 令和6年1月9日から、福祉バスのコースが3コースに増え、バス停も86か所となり利用者の利便性が向上しているが、この改正に至った経緯及び福祉バス改正後の状況について伺う。また、アンケートでは、利便性について意見があったが、それらの解消はされたのか伺う。

市長 令和3年度に実施したアンケートでは、運行本数増加や逆回りの導入等、改善を求める意見があり、令和3年度から4年度にかけて、アンケートにおける課題等について検討を行った。令和5年度に既存2コースのルートや時刻の調整、アンケートのご意見への対応を行い、利便性

の向上等を図るため、牛浜駅東口や中央図書館をルートに加えた中央コースたなばた号を導入した。新コース導入直後の1か月間の利用状況は、3コースを合わせて約8200人で、1日当たり約280人が利用し、今後も利用者の増加を見込んでいる。引き続き周知と安全運行に努めていく。



▲たなばた号出発式の様子

各種予防接種費用助成について



公明党
川崎 善友 議員



質問 令和5年秋からインフルエンザが猛威を奮い、多くの市内小・中学校で学級閉鎖や学年閉鎖となった。子どもたちの健康を守るため、小児インフルエンザ予防接種費用助成をすべきと考えるが、所見を伺う。

市長 子どもへのインフルエンザ予防接種は、定期接種化はされてお

らず任意接種のため、現時点では費用助成の予定はない。引き続き、子育て支援施策の中での優先順位を見極めながら、他の自治体の動向等も注視していく。

福生市立学校の日本語指導の取組について

質問 外国人住民の児童・生徒に

対する日本語指導の取り組みは。

教育長 福生第一小学校及び第二中学校に日本語学級を設置し、必要な学習言語能力を身につける指導を行っている。通常学級では、スクール・アシスタント・ティーチャーを配置し、日本語を十分に話せない児童・生徒への学習支援を行っている。



公共施設等の泡消火剤について



公明党
青木 健 議員



質問 令和5年12月、町田市市の市営駐車場で何者かにより消火設備が起動され、PFOS(有機フッ素化合物)が含まれた泡消火剤が近くの川に漏出、川の水から国の目標値を上回る値が検出された。これを受け東京都が調査したところ、所有する30施設で有害性が指摘される物質を含む消

火剤の設置が明らかになった。本市における公共施設等の泡消火剤の現状と今後の対応について伺う。

市長 日本では平成22年4月からPFOSを含有した製品の製造・使用等が事実上禁止されている。市が管理する施設では、車両などの油火災は水では十分な消火効果が得られな

い、あるいはかえって火災を拡大させる恐れがあるため、市庁舎の地下駐車場に泡消火剤を使用しているが、PFOSは含有していないことを確認している。また、その他の施設で泡消火剤は使用していない。今後もPFOSの規制については、国等の動向を注視し、適正に対応する。



▲PFOSを含有していない泡消火設備